

## 療養病院における透析患者の生命予後および機能予後の評価

研究責任者：中村 卓人

連絡先：西崎病院 098-992-0055 (内線 983)

背景：2024 年現在、日本の透析患者の平均年齢は 70.3 歳、導入年齢は 71.7 歳と透析患者の高齢化が進んでいる(1)。高齢者の透析導入は QoL の改善が得られるかは議論があるが、生命予後の改善は得られるとされている。一方で生命予後改善が限定的な予後不良患者においての透析導入のメリットは限定的な可能性があり、予後は重要である。

透析患者の予後予測因子としては悪性腫瘍や心血管病、末梢動脈疾患、糖尿病などの併存疾患に加え、年齢やパフォーマンスステータス(PS)、低アルブミン、貧血、痩せなどが報告されている(2-6)が主として海外からの報告である。日本からの報告では 1 施設からの 1988-2013 の症例で貧血や PS が悪い症例や貧血のある症例では予後不良であると報告されている(7)。

日本における透析患者の粗死亡率は 1980 年から徐々に上昇しており(1)、透析患者の高齢化などともに予後が変改している可能性が考えられる。今回、予後関連因子の再評価を行う目的で療養病院である当院透析患者の生命予後、機能予後の評価を行った。

目的：当院透析患者の短期の生命予後、機能予後を評価する

意義：自宅生活不能など透析導入に議論のある患者における意義を再評価する

### 方法

後ろ向き観察研究

研究期間：承認日～3 年

対象：2020/1/1-2025/1/1 に西崎病院で透析を受けた 20 歳以上の患者

方法：初診が 2020/1/1 以前の場合は 2020/1/1、以降の場合は初診時をスタディのエントリー時とした。エントリー時の臨床情報および 1 か月後、半年後、1 年後の転機をカルテより収集する

除外：感染治療や PTA、旅行透析の患者は予後の評価を行えないため除外する。AKI での透析導入は除外する

予定症例数：300 名程度

### 侵襲・介入の有無、研究対象者への負担・リスク

本研究はカルテ情報での後ろ向き研究であり、侵襲や介入はなく、身体的な負担はない  
想定される主なリスクは、個人情報漏洩のリスクである。

### 個人情報保護・匿名化

研究用 ID を付与し連結不能匿名化を行う  
解析用データには個人識別情報を含めない  
保存期間：研究終了後 3 年間

#### インフォームド・コンセント

本研究は既存情報を用いる後ろ向き観察研究であり、研究対象者から直接同意取得を行わない。そのため、倫理指針に基づきオプトアウト方式により研究情報を公開する。

#### 公開方法

(病院ホームページなど)

#### 研究資金・利益相反

利益相反 (COI)：なし

1. 日本透析医学会. “わが国の慢性透析療法の現況 2024 年末の慢性透析患者に関する集計”、<https://docs.jsdt.or.jp/overview/>
2. Jürgen Floege, Iain A. Gillespie, Florian Kronenberg, Stefan D. Anker, Ioanna Gioni, Sharon Richards, Ronald L. Pisoni, Bruce M. Robinson, Daniele Marcelli, Marc Froissart Kai-Uwe Eckardt “Development and validation of a predictive mortality risk score from a European hemodialysis cohort.” *Kidney international* 2015; 87. 996-1008
3. Mikko Haapio, Jaakko Helve, Carola Grönhagen-Riska, Patrik Finne. “One-and 2-year mortality prediction for patients starting chronic dialysis ” *Kidney int rep.* 2017; 2. 1176-1185
4. Cécile Couchoud 1, Michel Labeeuw, Olivier Moranne, Vincent Allot, Vincent Esnault, Luc Frimat, Bénédicte Stengel; French Renal Epidemiology and Information Network (REIN) registry. “A clinical score to predict 6-month prognosis in elderly patients starting dialysis for end-stage renal disease” *Nephrol dial transplant* 2009; 24. 1553-61
5. Mae Thamer, James S Kaufman, Yi Zhang, Qian Zhang, Dennis J Cotter, Heejung Bang. “predicting early death among elderly dialysis patients: development and validation of a risk score to assist shared decision making for dialysis initiation.” *Am J kidney dis.* 2015; 66. 1024-1032.
6. Chava L Ramspek, Wouter R Verberne, Marjolijn van Buren, Friedo W Dekker, Willem Jan W Bos, Merel van Diepen. “Predicting mortality risk on dialysis and conservative care: development and internal validation of a prediction tool for older patients with advanced chronic kidney disease” 2020. *Clin Kidney J*: 14. 189-196.

7. Shingo Hatakeyama, Hiromi Murasawa, Itsuto Hamano, Ayumu Kusaka, Takuma Narita, Masaaki Oikawa, Daisuke Noro, Kazuhisa Hagiwara, Hirofumi Ishimura, Takahiro Yoneyama, Yasuhiro Hashimoto, Takuya Koie, Hisao Saitoh, Tomihisa Funyu, Chikara Ohyama. "Prognosis of Elderly Japanese Patients Aged  $\geq 80$  Years Undergoing Hemodialysis." 2013. ScientificWorldJournal. 9; 693514.